

簿記論【判定テスト】

問 題

－100点－

制限時間 60分

下記の【資料】に示された取引について、それぞれ適切な仕訳を答案用紙の所定の箇所に示しなさい。なお、答案用紙へ記入する際は円単位で答えること。また、商品売買の会計処理は、三分法により処理すること。

【資料1】

- 1 東京商店より商品300,000円を仕入れ、代金は現金で支払った。
- 2 大阪商店へ商品500,000円で販売し、代金は現金で受け取った。
- 3 東京商店より商品600,000円を仕入れ、代金は掛けとした。
- 4 上記3の仕入について、東京商店に600,000円を現金で支払った。
- 5 大阪商店へ商品800,000円で販売し、代金は掛けとした。
- 6 上記5の販売について、大阪商店から800,000円を現金で回収した。

【資料2】

- 1 東京商店より掛けで仕入れた商品100,000円のうち、30,000円を品違いのため返品した。
- 2 大阪商店へ掛けで販売した商品150,000円のうち、50,000円が品違いのため返品された。
- 3 東京商店より掛けで仕入れた商品に汚損があったため、仕入先より20,000円の値引きを受けた。
- 4 大阪商店へ掛けで販売した商品に汚損があったため、35,000円の値引きを承諾した。
- 5 東京商店より商品200,000円を仕入れ、代金は掛けとした。なお、引取運賃10,000円を現金で支払った。
- 6 大阪商店へ商品300,000円で販売し、代金は掛けとした。なお、発送費用20,000円を現金で支払った。

【資料3】

- 1 得意先北海道商店から売掛金の回収として、同店振出の小切手12,000円を受け取った。
- 2 仕入先名古屋商店に対する買掛金12,000円を、上記1の北海道商店振出の小切手で支払った。
- 3 現金について調べてみたところ、実際有高は20,000円で、帳簿残高23,000円より3,000円不足していることが分かった。
- 4 現金について調べてみたところ、実際有高は20,000円で、帳簿残高18,000円より2,000円多いことが分かった。
- 5 現金過不足3,000円（借方残高）の原因について調べてみたところ、買掛金の支払額3,000円の記帳漏れが判明した。
- 6 現金過不足2,000円（貸方残高）の原因について調べてみたところ、売掛金の回収額2,000円の記帳漏れが判明した。

【資料4】

- 1 福岡商店は銀行と当座取引契約を結び、現金50,000円を預け入れた。
- 2 福岡商店は熊本商店へ買掛金30,000円について、小切手を振り出して支払った。
- 3 福岡商店は長崎商店より売掛金30,000円について、先方振出の小切手で受け取り直ちに当座預金とした。
- 4 福岡商店は佐賀商店から売掛金30,000円について、かつて当店が振り出した小切手で受け取った。
- 5 インプレスト・システム（定額資金前渡法）を採用し、小口現金10,000円を小切手を振り出して用度係に前渡しした。
- 6 用度係から次のような支払いの報告を受けた。

通信費 5,000円 交通費 2,500円 消耗品費 2,000円

【資料5】

- 1 徳島商店は、仕入先高知商店より商品5,000円を仕入れ、代金は高知商店を名宛人とする約束手形5,000円を振り出して支払った。
- 2 高知商店は、得意先徳島商店へ商品5,000円で販売し、代金は徳島商店振出、高知商店を名宛人とする約束手形5,000円で受け取った。
- 3 徳島商店は、かねて高知商店に振り出した約束手形5,000円が支払期日となり、当座預金から代金5,000円が支払われた旨、全国銀行鳴門支店から通知を受けた。
- 4 高知商店は、かねて取り立てを依頼していた徳島商店振出の約束手形5,000円が支払期日になり、当座預金に代金5,000円が入金された旨、全国銀行土佐支店から通知を受けた。

- 5 広島商店は、岡山商店から商品10,000円を仕入れ、代金はかねて鳥取商店から受け取っていた約束手形を裏書譲渡して支払った。
- 6 岡山商店は、広島商店へ商品10,000円で販売し、鳥取商店振出、広島商店宛の約束手形10,000円を裏書きされた。
- 7 約束手形20,000円を取引銀行で割り引き、割引料150円を差し引いた残額を同行の当座預金とした。

【資料6】

- 1 京都商店は、奈良商店に対して30,000円を現金で貸し付け、借用証書を受け取った。
- 2 京都商店は、奈良商店から貸付金の利息300円を現金で受け取った。
- 3 京都商店は、奈良商店に対して貸し付けていた30,000円について現金で返済を受けた。
- 4 奈良商店は、京都商店へ借用証書を渡し、現金30,000円を借り入れた。
- 5 奈良商店は、京都商店へ借入金の利息300円を現金で支払った。
- 6 奈良商店は、京都商店から借り入れていた30,000円を現金で返済した。
- 7 旭川商店は、札幌商店に商品20,000円を注文し、手付金として4,000円を小切手を振り出して支払った。
- 8 旭川商店は、札幌商店から商品20,000円を受け取り、代金のうち4,000円は注文時に支払った手付金と相殺し、残額は掛けとした。
- 9 札幌商店は、旭川商店から商品20,000円の注文を受け、手付金として同店振出の小切手4,000円を受け取った。
- 10 札幌商店は、旭川商店に商品20,000円を引き渡し、代金のうち4,000円は注文時に受け取った手付金と相殺し、残額は掛けとした。
- 11 従業員の給料350,000円から源泉所得税20,000円を控除し、残額を現金で支払った。
- 12 従業員に対する所得税の源泉徴収額20,000円を税務署に現金で納付した。
- 13 商品券6,000円を発行し、代金は現金で受け取った。
- 14 商品5,000円を販売し、商品券3,000円と現金2,000円を受け取った。
- 15 商品3,000円を販売し、他店が発行した商品券3,500円を受け取り、おつり500円は現金で戻した。
- 16 商品券の精算をし、当店が保有している他店商品券3,500円と、他店が保有している自店商品券3,000円とを交換し、差額を現金で受け取った。

【資料7】

- 1 長野物産株式会社の株式を1株あたり600円で100株購入し、代金は売買手数料2,000円とともに現金で支払った。
- 2 青森商事株式会社の社債額面総額100,000円を100円につき94円で購入し、代金は売買手数料2,000円とともに現金で支払った。
- 3 かねて1株620円で購入した株式100株のうち10株を、1株650円で売却し、代金は現金で受け取った。
- 4 かねて額面100円につき96円で購入した社債1,000口のうち500口を、1口92円で売却し、代金は現金で受け取った。
- 5 かねて所有する国債額面10,000円につき利札300円の利払日が到来した。
- 6 かねて所有する田町物産株式会社の株式100株につき1株100円の配当があり、株式配当金領収証を受け取った。
- 7 固定資産税の納税通知書40,000円を受け取ったので、小切手を振り出して支払った。

【資料8】

- 1 決算につき、現金過不足1,500円（借方残高）を雑損として処理する。
- 2 決算につき、仕入勘定で売上原価を計算する。なお、期首商品棚卸高は2,000円、期末商品棚卸高は1,000円である。
- 3 決算につき、当期首に取得した備品（取得原価50,000円、耐用年数5年、残存価額は取得原価の10%）の減価償却を行う。なお、減価償却方法は定額法、直接法により記帳している。
- 4 備品（取得原価50,000円、既償却額27,000円）を現金20,000円で売却した。なお、間接法により記帳している。
- 5 得意先群馬商店が倒産し、同店に対する売掛金15,000円が貸倒れとなった。なお、同店について貸倒引当金は設定していない。
- 6 得意先千葉商店が倒産し、同店に対する売掛金10,000円が貸倒れとなった。なお、貸倒引当金の残高が15,000円ある。
- 7 得意先埼玉商店が倒産し、同店に対する売掛金12,000円が貸倒れとなった。なお、貸倒引当金の残高が10,000円ある。
- 8 前期に貸倒れとして処理した栃木商店に対する売掛金30,000円を現金で回収した。
- 9 決算につき、売掛金の期末残高100,000円に対して実績率法により3%の貸倒れを見積もる。
- 10 決算につき、当期に支払った向こう1年分の保険料12,000円のうち、未経過分である3か月分について繰り延べる。
- 11 上記10の決算において繰り延べた金額を、再振替仕訳として支払保険料に振り替える。
- 12 決算につき、当期に結んだ建物の賃借料（毎月100円であり、すべて翌期の契約終了時に支払うこととなっている。）のうち当期賃借分である10か月分について見越計上する。
- 13 上記12の決算において見越計上した金額を、再振替仕訳として支払家賃に振り替える。

答案用紙

【資料1】

	勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
1				
2				
3				
4				
5				
6				

【資料2】

	勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
1				
2				
3				
4				
5				
6				

【資料3】

	勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
1				
2				
3				
4				
5				
6				

【資料4】

	勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
1				
2				
3				
4				
5				
6				

【資料5】

	勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				

【資料6】

	勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				

【資料 7】

	勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				

【資料 8】

	勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				